

2. 利便性・機能性の高い都市施設の方針

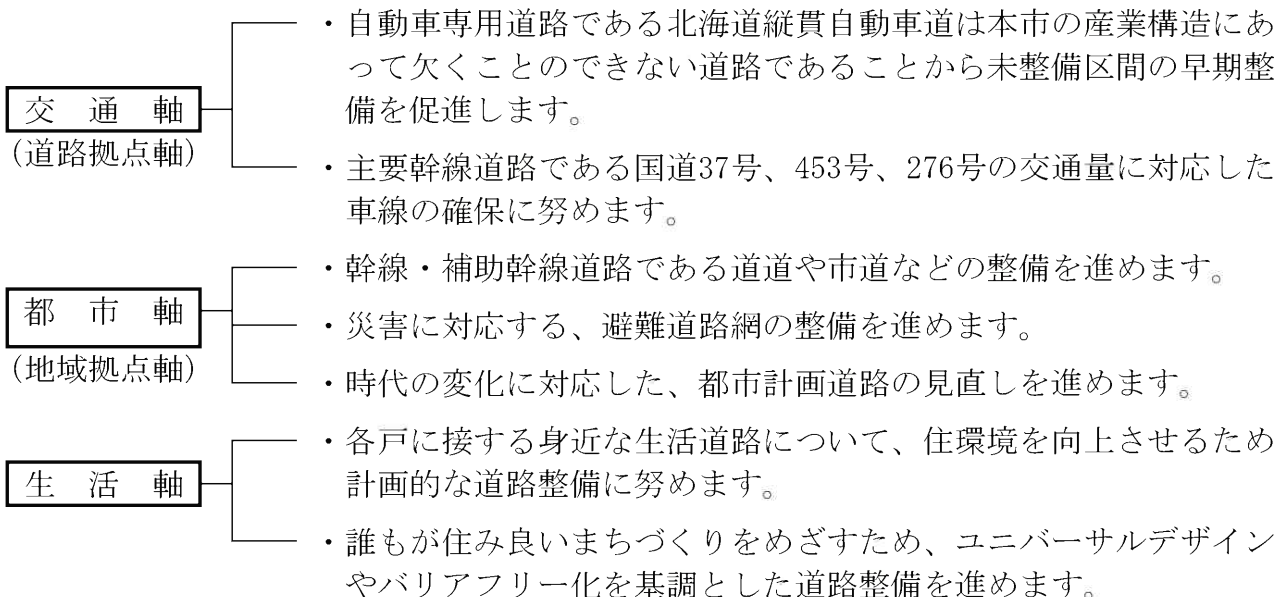
(1) 道路網の整備方針

道路網の整備計画においては、増大する交通量に対応し、道路の機能分担による交通体系の確立を図ります。

ア. 交通体系の形成

室蘭圏総合交通体系のマスタープラン（室蘭圏総合都市交通体系調査）に基づく道路網の整備に努めます。

イ. 交通ネットワークの形成



ウ. 公共交通

市民生活に密着した公共交通機関である鉄道、バスの公共交通需要は、高齢者が増加することにより、ますますその依存度が高くなることから、利便性の向上や路線の確保に努めるとともに、ライフモビリティなど新しい交通システムの導入を促進します。

また、玄関口としての役割を担うJR伊達紋別駅周辺については、交通結節点としての都市機能の充実に努めます。

エ. 総合的なバリアフリー化

住み良いまちづくりを推進するため、総合的なバリアフリー化を念頭においた道路整備を進めるとともに、レクリエーションに対するニーズの高まりや快適な歩行空間の確保のため、自歩道の確保を図ります。

道路網の整備方針

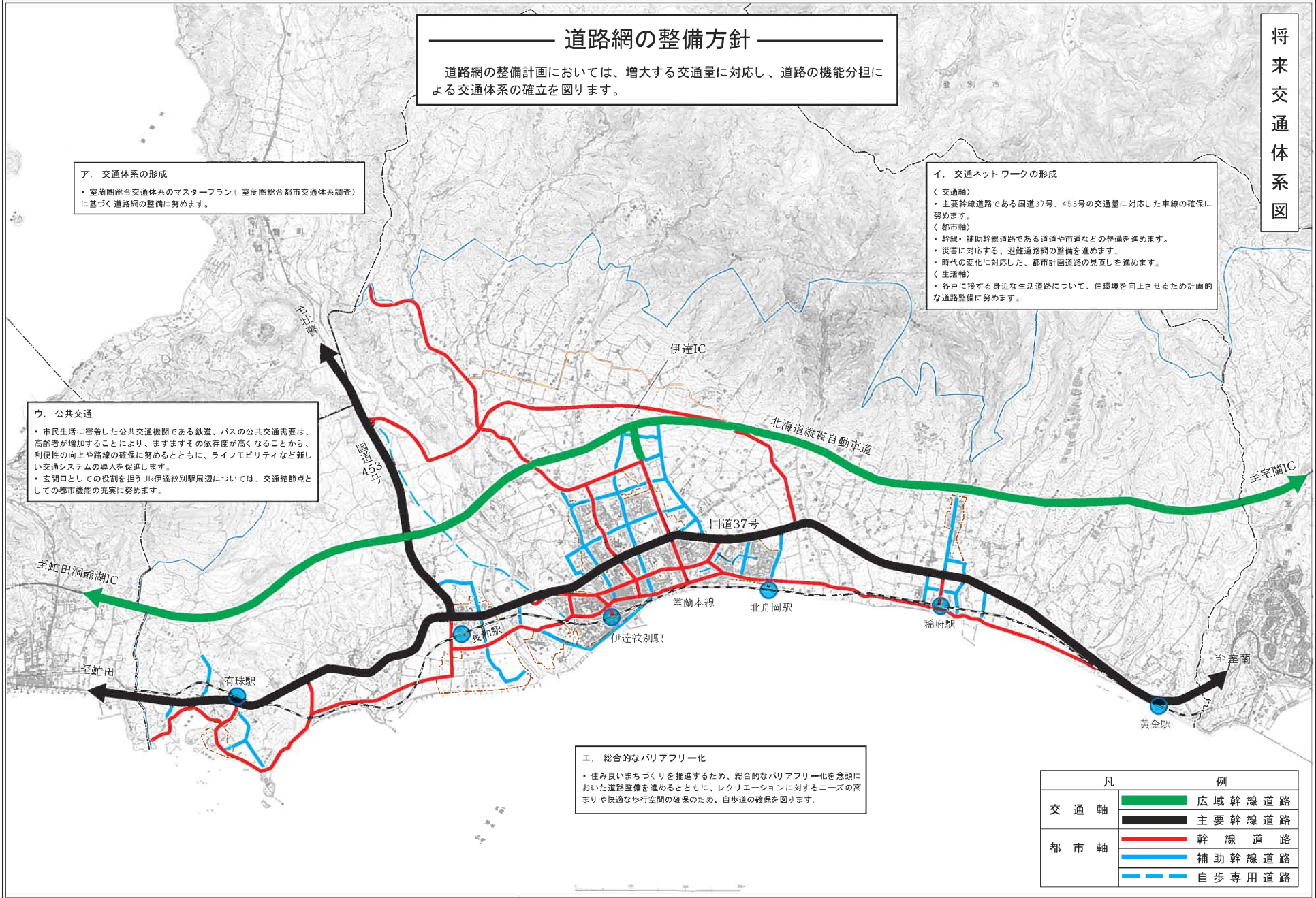
道路網の整備計画においては、増大する交通量に対応し、道路の機能分担による交通体系の確立を図ります。

ア. 交通体系の形成
 ・ 室蘭圏総合交通体系のマスタープラン（室蘭圏総合都市交通体系調査）に基づく道路網の整備に努めます。

イ. 交通ネットワークの形成
 〈交通軸〉
 ・ 主要幹線道路である国道37号、453号の交通量に対応した車線の確保に努めます。
 〈都市軸〉
 ・ 幹線・補助幹線道路である道道や市道などの整備を進めます。
 ・ 災害に対応する、避難道路網の整備を進めます。
 ・ 時代の変化に対応した、都市計画道路の見直しを進めます。
 〈生活軸〉
 ・ 各戸に接する身近な生活道路について、住環境を向上させるため計画的な道路整備に努めます。

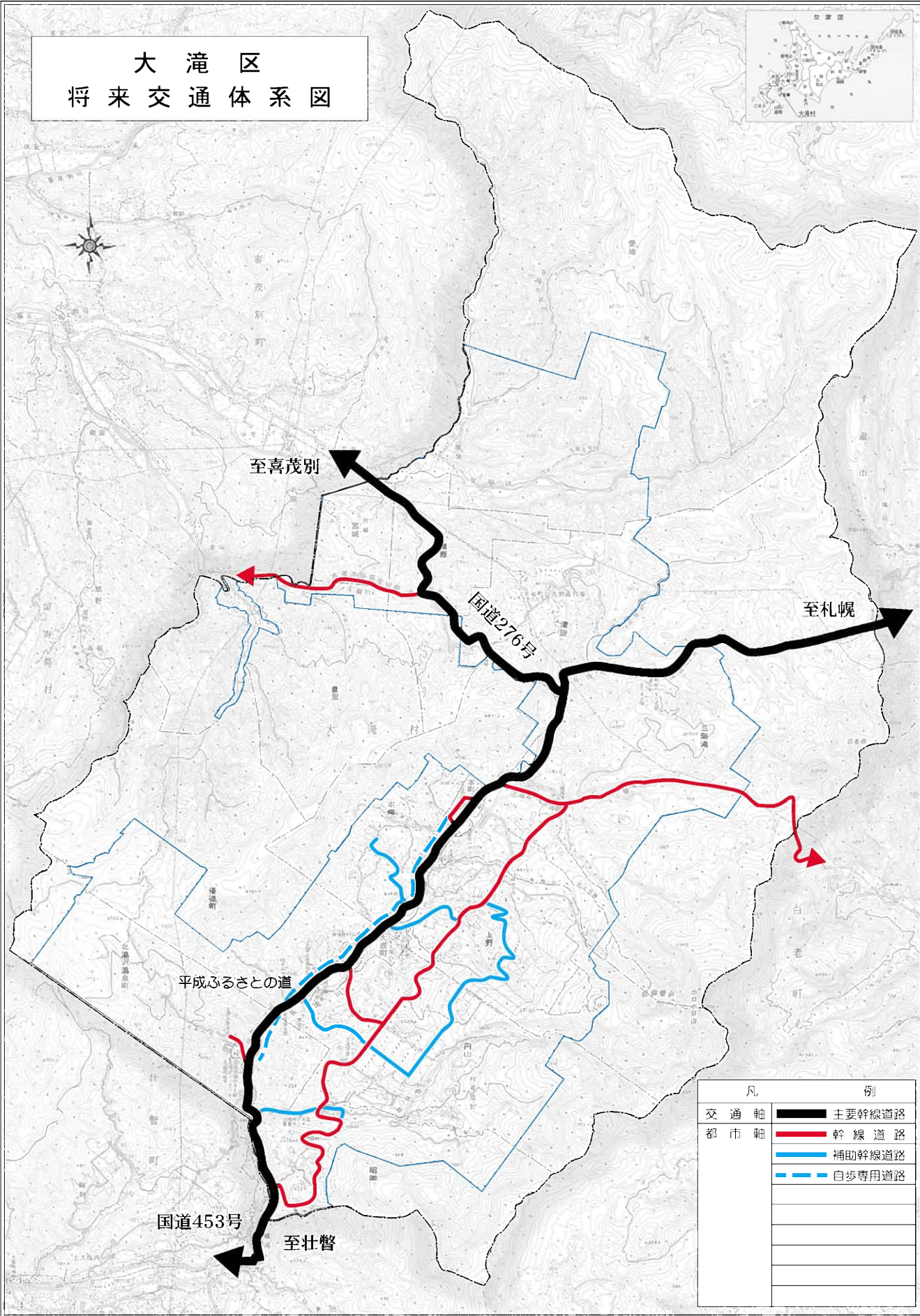
ウ. 公共交通
 ・ 市民生活に密着した公共交通機関である鉄道、バスの公共交通需要は、高齢者が増加することにより、ますますその依存度が高くなることから、利便性の向上や路線の確保に努めるとともに、ライフモビリティなど新しい交通システムの導入を促進します。
 ・ 玄関口としての役割を担うJR伊達線別駅周辺については、交通結節点としての都市機能の充実に努めます。

エ. 総合的なバリアフリー化
 ・ 住み良いまちづくりを推進するため、総合的なバリアフリー化を念頭においた道路整備を進めるとともに、レクリエーションに対するニーズの高まりや快適な歩行空間の確保のため、自歩道の確保を図ります。



凡	例
交通軸	<ul style="list-style-type: none"> 広域幹線道路 主要幹線道路
都市軸	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路 補助幹線道路 自歩専用道路

大滝区 将来交通体系図



凡	例
交通軸	主要幹線道路
都市軸	幹線道路
	補助幹線道路
	自歩専用道路